

展示関連講座等

企画展「震災をふりかえる」関連行事 ※終了しました
・2021年4月24日(土) 13:30～15:00
講演会 「2020年7月豪雨で被災した水損資料のレスキュー活動について」
(講師：熊本県教育庁教育総務局 文化課 学芸員 川路祥隆氏)
・2021年4月25日(日) 13:30～16:45 ※終了しました
熊本地震シンポジウム
～5年間でわかったこと、そしてこれからの防災・減災～
(会場：熊本城ホール シビックホール)
※いずれも申込は往復はがきもしくはHPで 4月12日必着

企画展「能楽伝承」関連講座
・2022年1月15日(土) 13時半～15時
講演会 (講師：調整中)

上記の講座・企画は毎回申込方法が異なりますので、詳しくは直近の市政だよりや当館HPにてご確認ください。

ミュージアムトーク ※申込不要
学芸員による展示解説です。実施についての詳細な日時は開催月に当館HP等にてお知らせいたします。



2021年度 通年講座・教室一覧 展示会スケジュール 2021年8月改訂版

各講座・教室の受講の際には博物館入場料が必要です。
通年で受講される方は年間入場券をお勧めいたします。

通年講座の申込方法 ・往復はがきの場合

往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて熊本博物館まで郵送(〒860-0007 中央区古京町3-2)

・ホームページの場合

博物館ホームページ(<https://kumamoto-city-museum.jp/>)
の申込フォームに必要事項を入力
場所：トップ画面>講座・教室>お申し込み

※年度当初の申し込み受付は終了いたしました。

年度途中からの各講座の受け入れについては直接博物館(096-324-3500)にお尋ねください。講座の内容や定員の空き状況次第では受け入れ可能な場合があります。

2021年度 開講 通年講座

考古学専門講座

熊本の縄文時代を探索する室内講座と現地巡りです
月末の木曜日を中心に実施(年間11回)
初回 5月27日(木) 10:00～ 講堂・屋外
申込締切日 2021年5月11日(火)(必着)

保存科学講座

資料保存に関する室内講座です
奇数月の第2土曜日午前を中心に実施(年間6回)
初回 5月8日(土) 10:30～ 講堂
申込締切日 2021年4月26日(月)(必着)

動物学講座

身近な生きものに関する室内講座と観察会です
奇数月の第3土曜日午前を中心に実施(年間6回)
初回 5月15日(土) 10:00～ 講堂
申込締切日 2021年5月7日(金)(必着)

植物学講座

身近な植物に関する室内講座と野外観察会です
偶数月の第4木曜日を中心に実施(4～12月・年間5回)
初回：4月22日(木) 10:00～12:00 講堂
定員20名
申込締切日 2021年4月12日(月)(必着)

地質学講座

化石や岩石、熊本の大地に関する室内講座です
偶数月の第3日曜日午後を中心に実施(年間5回)
6月13日(日) 初回 14:00～ 実験・工作室
※初回は第2日曜日です
申込締切日 2021年6月7日(月)(必着)

⇐通年講座の申込方法は紙面中央をお読みください。
2回目以降の開催日時等の詳細は講座中や電話にてお知らせいたします。
各講座参加無料ですが、受講の際には博物館入場料が必要です。
通年で受講される方は年間入場券をお勧めいたします。

子ども科学・ものづくり教室



小中学生を中心に『不思議の種まき』をします。
実験や科学工作などの直接体験を通して、その楽しさを伝えながら身の回りの様々な事象に対する興味・関心を高めていきたいと願っています。
ぜひ、ご参加ください!!

毎回テーマによって申込方法が異なりますので、詳しくは直近の市政だよりや当館HPにてご確認ください。

2021年度 展示会スケジュール

2021年8月時点での展示予定です。
都合によりタイトルや会期など
一部変更する場合があります。

①企画展 震災をふりかえる
3月20日(土)～5月9日(日)
※終了しました

2021年4月、熊本地震発生から5年が経過します。本展では、熊本地震発生後の当館の取組みや地震の痕跡が残る資料、県内各地の断層調査で得られた剥ぎ取り標本をご紹介します。今一度5年前の地震を振り返ります。



②夏季特別展
銀河鉄道の夜 —KAGAYA 星空の世界展
7月17日(土)～9月5日(日)

国内をはじめ欧米・アジアの累計100館を超えるプラネタリウムで上映され、観客動員数100万人突破という金字塔を打ち立てたプラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」。その「銀河鉄道の夜」をテーマに番組を手がけた、KAGAYA氏のデジタルアート・星景写真を展示します。また、会期中にはプラネタリウムにて「銀河鉄道の夜」を放映します。
(本展は博物館入場料のほかに特別展覧会観覧料が別途必要です)



銀河の果ての南極光

③秋季企画展
「未来へつなぐ植物の記録 —令和2年7月豪雨で被災した前原勘次郎の植物標本—」
10月2日(土)～11月28日(日)

令和2年7月豪雨により浸水被害を受けた人吉城歴史館に所蔵されていた前原勘次郎氏によって収集された3万点を超える植物の押し葉標本。その貴重な標本を守るため災害発生直後から乾燥処理やクリーニングなどを行う「標本レスキュー活動」が全国の博物館や大学などで行われています。本展では、当館が携わった標本レスキュー作業の様子や前原氏が記録した今では貴重となっている植物標本などを写真とともにご紹介いたします。



被災した植物標本

④熊本市遺跡発掘速報展
12月11日(土)～2月6日(日)

熊本市内の最新の発掘成果を展示します。
土器や石器が盛りだくさん！
特別講演会もあります。



⑤企画展
「能楽伝承 —熊本の能文化—」
12月18日(土)～2月13日(日)

江戸時代、熊本を治めた細川家は、能楽を深く愛好したことで知られています。自身も太鼓の名手として知られた初代細川幽齋のほか、2代・忠興や3代・忠利なども能楽への造詣が深く、家老松井氏をはじめとした細川家中も藩主同様、能楽に親しみました。また、肥後藩士であり、能楽相伝の家としても機能した中村家には、貴重な資料が連綿として受け継がれ、大事に保管されてきました。本企画展は藩主細川家や松井家の能楽にまつわる資料、中村家文書に伝わる貴重な相伝書をもとに、熊本に息づいた能文化の世界をご紹介します。

⑥館蔵品展
「くまはくコレクション 肥後のやきもの」
3月12日(土)～5月8日(日)

全国各地、その土地土地に根ざしたさまざまなやきものが伝わっています。熊本でも、小代焼や八代焼など多種多様なやきものが生産されてきました。当館には、県内各地で作られたやきものが多数収蔵されています。近年、専門家と共に行った館蔵品調査の成果をもとに、当館のやきものコレクションを一堂にご紹介します。



小代焼 薬灰釉四方手付水指

2021年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別展示室1	① 震災を ふりか える ※終了			② 銀河鉄道の夜 KAGAYA 星空 の世界展			③ 未来へつなぐ 植物の記録		⑤能楽伝承		⑥ 肥後の やきも の	
特別展示室2												
特別展示室3										④発掘速報展		